



中央公園のあじさいは たくさんの人の心に残り  
「きれいだったよ～」とお子さんが思い出して話していました  
梅雨が明け、猛暑が続いています  
食事をしっかりとって体調管理していきましょう



## 私たちは顔の見える温かい関係性を大切にします

理事長 小俣 みどり

発足から20年、多くの皆さんに育てていただき感謝しています。  
29年度は、家族まるごと支援を果たすため、介護サポート・ピッコロも始めることができました。進化していかなければいけないこと、変えてはいけないことの一つに、大切にしてきた地域での顔の見える関係性での温かい支援等があります。

当法人の目的を達成していくために、2021年度までに目指す姿を示した中期計画を作成しました。これからは、総会で出された課題の整理と準備を進めてきたことを具体的に実現していく年になっていきます。

正会員の皆さんの協力を得ながら計画が絵に描いた餅にならないよう、一緒に実現させていきましょう。また、皆さんも意見を述べ、この中期計画をご自身の活動とし、より良いものにして下さい。みなさんの一人一人の意見や力が合わさることで目標達成に近づけると考えています。

「ピッコロさんがあるから清瀬市は子育て支援が進んでるなあ～」と他地域のママたちから、他団体の方々からの声が上がってきています。

「困った時はすぐ手を差し伸べる」

「預かる理由は問わない」

と発足当時立てた方針は2つでした。

その時の気持ちを忘れず、今後も思いを活動に反映していきましょう。

何のために活動するのか  
何のために活動しているのか  
この活動で得られるのは何なのか  
誰が誰のために活動しているのか  
自分自身のために活動しているのか  
NPO法人としての地域での役割は何か  
自分たちの役割は何か  
自分たちの団体だけではできないことをどうするか  
他団体とのネットワークを作る意味は  
他団体とのネットワークができるとどうなるのか  
他団体と一緒に活動する意義は



常に考えながら、NPO法人としての誇りと意義を忘れず進化していき、魅力ある活動を実践し、次世代に引き継げるようにしていきたいと思っています。



## 第15回定期総会を終えて

5月27日(日)16:00から、アイレック会議室にて行いました。当日は、副市長/中澤弘之さんをはじめ、女性労働協会/部長の小林恭子さん・清瀬市からは、清瀬市教育長/坂田篤様・健康福祉部高齢福祉担当部長 高齢支援課長事務取扱/小山利臣様・子ども家庭部長/矢ヶ崎直美様・男女共同参画センター長/福田紀子様・子ども家庭部子ども家庭支援センター長/渡辺研二様がお出席くださいました。

平成29年度の事業報告、会計収支報告、また、平成30年度事業計画と事業予算案も承認いただき、無事に総会を終えたことをご報告いたします。正会員より、NPO法人 しんぐるまざあず・ふおーらむの会員になるにあたり、どのような団体であるか明確にしてほしいとのご意見と介助員をしているお子さんの宿泊を伴う保育料金の見直しの要望があり、検討いたします。

定期総会終了後、承認を得た理事の互選で理事長と副理事長が決定しました。任期は30年度・31年度の2年間となります。監事2名は新任となります。

理事長 小保みどり・副理事長 牧野靖子

理事 西郷泰之・木村容子・工藤宏子・丸山安三・池田いづみ・辻村敏子

監事 我謝悟(特別養護老人ホームシャローム東久留米施設長) 八代田道子

どうぞよろしくお願い致します。また、事務局には福田孝子さんをお迎えしスタートしています。

K-n e tアドバイザーとつどいの広場アドバイザーも新規の方が担ってくださっています。

## \*\*\*\*\* ホームスタート活動報告会 \*\*\*\*\*

7月1日(日)、平成29年度のホームスタートの活動報告会を行いました。ピッコロのホームビジターさんやこれからホームビジターの活動を始めようとする方々が参加してくださいました。

清瀬市長の渋谷金太郎氏も休日の中、最後までいてくださり、「親子の関係についての失敗談から、それでも真実の愛は伝わる」ことを実話を通してお話しして下さいました。

講演では、静岡福祉大学教授/相原真人先生が「地域につながるホームスタート～人々の良好な関係を作り出し、子育てのストレスを軽減する～」と題し、英国発祥のホームスタートのことから支援の事例を通して「人は人との関係の中で生かされる社会的な動物であるため、人間関係の希薄化と孤立化は地域における人々のつながりを「意図的」に作り出す必要がある。地域のつながりを意図的に作り出すのがホームスタートである」という話をされました。

後半は、ホームスタートを利用した方と支援に入ってくくださった方の発表でした。(妊娠期と通常のホームスタートの両方を利用された) ママは、妊娠期の大変さや赤ちゃんを連れて上のお子さんとの外出に同行してくれてよかったが、何より「おしゃべりがリフレッシュ」になったとのこと。ビジターさんは遊びを工夫されたり、ママとのお話が楽しかったとお話しされました。

産前に入ったビジターさんは残念ながら出席できませんでしたが、メッセージを寄せてくれました

《参加者アンケートより》

人は他者との関わりが必要で社会的な動物であるという言葉が心に残りました。自分自身、子育て中(長男が未就園児)のころ、知らない土地で暮らしており、地域になじむまでに時間がかかりました。自己体験からこのような方々の手助けができたらと思いホームビジターになったのです。この講演で初心に戻ることが出来ました。最近では他の仕事もあり、ホームビジター

に携わることがなかなかできませんが、また頑張ってみようと思いました。(自信をなくしていたこともあり…)



## 支援者の皆さまへ 無料の講習会

東京ウイメンズプラザ

配偶者暴力(DV)防止講演会

『子どもの発達と配偶者暴力(DV)』

9/15(土)13:15~16:00

関戸ヴィータホール京王線「聖跡桜が丘」駅西口徒歩1分

(多摩市関戸4-72ヴィータ・コミュニエ8F)

講演1 13:15~14:45 講師:渡辺久子さん

(元慶應義塾大学病院小児科外科医長)

講演2 15:00~16:00 講師:春原由紀さん

(NPO法人RRP研究会理事・武蔵野大学名誉教授)

【申込み&問合せ】東京都生活文化局都民生活部

東京ウイメンズプラザ事業推進担当

「DV防止講演会(第1回)」宛

TEL:03-5467-1980 FAX03-5467-1977

✉wkoza@tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp

## 楽しく安心できる場所に…

支援者 堀 寿美子

私がピッコロと初めて関わったのは、次男が産まれて3ヶ月の時に行ったK-net 広場でした。そこは、次に子どもが産まれたら、是非行きたいと思っていた場所でした。

公園以外は遊ぶ場所に苦労しましたから。

そうして次男と通ったK-net ひろばは、ほぼ月1回のペースなのに、休みなく行きたくなるかけがいのない場所でした。そこで、アドバイザーの方にお声をかけていただき、子どもの成長に合わせてファミサポの保育サービス講習会を受講し、提供会員となり、サブ・リーダーにさせていただき、今はピッコロの会員となりK-net アドバイザーの役割をいただいています。

利用者だった私が、今は企画運営する側になり、現役ママたちを支える立場となりました。私が通っている頃、そうだったように、お子さんが楽しく安心できる場所、ホッとできる場所を提供していきたいと思っています。

最近のテーマは、手遊びを覚えることもそうですが、手遊びの時間を自然に楽しく進められるように親子さんと一緒に楽しむことができたらいなと思います。

## 支援者Nさんの笑顔から元気をもらって

利用者Oさん

支援者であるNさんとは、長女が2歳のころからのお付き合いで、もう6年くらいの長い関わりのある方です。現在はほぼ毎週1回、朝1番の時間から来ていただいています。

早朝にもかかわらず、雨の日も雪の日も、「おはようございます!」と明るい笑顔できてくださるNさん。寝起きが悪くぐずぐずの次男(3さい)もNさんの顔をみると小踊りしたりはしゃぎ始めます。私もNさんの活気あふれる笑顔に元気をもらって出勤ができますし、何よりも安心して子供たちを任せて出かけられることを幸せに感じています。

我が家は母子家庭で、頼れる身内は実母(週末のみしか来られない)しかおらず、命綱はピッコロの制度とNさん。「お手伝いできることはするからね!」のNさんの言葉に勇気をいただいて、子どもたちと過ごす日々です。8歳、6歳、3歳の子どもたちには、母でも苦労することがありますが、Nさんはそんな子どもたちと会うのを毎回楽しみに来てくださっているようです。

本当に頭の下がる思いです。いつもありがとうございます。

## 研修会のご案内



清瀬市子どもの発達支援・交流センター公開講座

7月14日(土)13:30~16:00

清瀬市児童センターころぼっくるホール

講演「発達障害と不安

～行動の背景にあるもの～

講師:木村一優氏(児童精神科医)

衝動性、攻撃性、落ち着きのなさ、虚言など発達障害の特性としてあげられる“目に見える行動”に対して問題行動としてとらえ、それを抑制することに向かいがちになります。しかし、そうした行動の背景に“不安”の存在があることが多いと考えられます。そうした不安を周囲はどう受け止め、どう対応していくことが大事なのかについて児童精神科医のお立場からお話いただきます。

無料

【申込み&amp;問合せ】清瀬市子どもの発達支援・交流センターとことこ

TEL:042-495-3030 メール:tocotoco@kiyose-hattatsu.jp

# 《会員状況 2018.7.2 現在》正会員 68名・準会員 119名・賛助会員 16名(個人 14名・法人 3名)

◇3,000円以上寄付者・30名



\*NPOの活動を維持していくため、ピッコロでは寄付を募っています。事務所にぼち袋も用意していますが、直接お振込みくださる方もいらっしゃいます。会員の皆さんに限らず、お知り合いの方へもお声掛けいただくと嬉しいです。お気持ちをお願いします。

【寄付お振込先】ゆうちょ銀行【口座名】子育てネットワーク・ピッコロ【口座番号】00190-6-602187

♥賛助会員♥  
(法人)

新鮮こだわり中国料理  
**同心居**

H&C  
(株)関工務店

- 宇都宮レディースクリニック
- 宇都宮小児科内科クリニック
- スガハラ印刷

5月～6月の動き	— これからの活動予定 —
○ピッコロ △K-net、つどいの広場	◆ファミサポ HS=ホームスタート HV=ホームビジター
5/1(火)○定例会○ピッコロルーム職員会議	7/1(日)10:30～ HV 活動報告会(ころぼっくるホール)
5/2(水)◆サブ/アド調整会議	7/2(月)13:00～△つどいの広場調整会議
5/7(月)△K-net 運営会議 △つどいの広場調整会議	7/3(火)10:00～○定例会(セミナーハウス)
5/11(金)△K-net ひろば HV トラスティ会議	13:00～△K-net 運営会議(事務所)
5/14(月)◆保育サービス講習会(～6/13(水))	7/4(水)9:15～ ◆サブ/アド調整会議(事務所)
△つどい研修	○赤ちゃんのチカラプロジェクト(清中)
5/15(火)◆3～4カ月健診(ファミサポ説明)	7/5(木)10:00～△K-net リフレッシュ講座/ゆかたの着付け
5/18(金)○全国保育グループ支援連絡会総会及び研修会(山梨県笛吹市)	7/6(金)13:00～ HV HS 産前産後支援ホームビジター養成講座①
5/25(金)HV ホームスタート・ジャパン主催オーガナイザースキルアップ研修会	7/7(土)9:00～ ○ルーム職員会議
5/26(土)HV ホームスタート・ジャパン総会	10:30～ ◆第1回全体交流会(ころぼっくる)
5/27(日)○第15回定期総会	ミニミニうんどうかい
5/28(月)△K-net リフレッシュ講座/スタンドグラス風写真立て	7/10(火)12:30～◆3～4カ月健診(ファミサポ説明)
6/1(金)◆サブ/アド調整会議	7/11(水)10:00～△K-net 中里ひろば
6/2(土)○ピッコロルーム職員会議	7/12(木)9:30～ HV HS 産前産後支援ホームビジター養成講座②
6/4(月)○正会員のつどい △つどいの広場調整会議	7/13(金)10:00～△K-net ひろば(アイレック)
6/5(火)△K-net 運営会議	7/14(土)～15(日)HV 関東エリアHS オーガナイザー研修会
6/8(金)△K-net ひろば(ファミサポ説明)	及び関東エリア協議会(山梨県甲府市)
6/11(月)△K-net リフレッシュ講座/ストレッチ	7/17(火) ○赤ちゃんのチカラプロジェクト(三中)～18(水)
6/12(火)◆3～4カ月健診(ファミサポ説明)	7/22(日) ○きよせ子ども劇場 40周年記念 出席
6/13(水)△中里 K-net ひろば	7/25(水)10:00～K-net ジュニア子育てサポーター養成講座
13～15○赤ちゃんのチカラプロジェクト(五中)	7/27(金)10:00～△K-net ひろば(ファミサポ説明/アイレック)
6/14(木)○責任者会議(事務所)	8/1(水)10:00～ ○正会員のつどい(けやきホール第3会議室)
6/18(月)HV スキルアップ研修会及び交流会	8/3(金)10:00～ △K-net ひろば(ファミサポ説明/アイレック)
6/19(火)HV 東京協議会推進協議会総会及び研修会	8/4(土)9:00～ ○ピッコロルーム職員会議(事務所)
19～21○赤ちゃんのチカラプロジェクト(二中)	8/6(月)9:15～ ◆サブ/アド調整会議(事務所)
6/22(金)△K-net ひろば(ファミサポ説明)	13:00～ △つどいの広場調整会議(元町つどいの広場)
6/29(金)○第49回理事会	8/9(金)13:30～ ○ボランティア セミナー(セミナーハウス)
	8/21(火)10:00～△K-net リフレッシュ講座/手作りおもちゃ
	12:30～◆3～4カ月健診(ファミサポ説明)
	8/23(木)13:30～◆第1回スキルアップ研修会(ころぼっくるホール)

## 《編集後記》

夕方の保育園のお迎え、夕日が美しい。暑さも少し忘れられる。

「だるまちゃんシリーズ」の絵本作家・かこさとしさんが5月2日亡くなった。亡くなるまで五百冊以上発行。「だるまさんが」「だるまさんの」「だるまさん」とは赤ちゃんから乳幼児まで親しまれている。

終戦を迎えた時、それまで国のためと言っていた大人が態度を翻し、「戦争は反対だった」と無責任な言葉を発したのをみて、当時十九歳だった加古さんはどうやって子どもに償うか。絵が得意だったことから「大人のいうことだけきいているだけでは駄目だ。良し悪しを見分ける力を身につけて欲しい」という子どもへの応援団のつもりで亡くなる間際まで絵本を書き続けたという。

「パパ、ママ もうほんとうにゆるして」とメモを残して命を失った5歳の舟戸結愛ちゃん。私たちはこの悲しい事件を忘れてはいない。出来ることは限られているが、そのひとつからはじめよう。

